

イタリアの留学生と交流 土佐女子中高校生

書道部員の指導で筆を握る留学生たち

(高知市追手筋2丁目の土佐女子中高)



茶道や書道でもてなし

高知市の土佐女子中高校の生徒が27日、イタリアから高知県立大に留学している男女7人を茶道や書道でもてなした。

7人は9月末に来日。2カ月間、日本語や日本文化を学ぶ予定で、この日は土佐女子中高が交流にと同校

に招いた。

留学生たちはまず、浴衣にお着替え。男性陣は「帯の結び目は、真後ろから少しずれた方がかっこいいと言われる」という教員のアドバイスに、帯をキュッキュッとずらしてにんまり。

続いて、茶道部員がお手

前を披露した。正座でお茶を味わった留学生は、しびれる足に苦笑い。好きなアニメや食の話で盛り上がった後、書道部員の指導で筆を握り「高知」「愛」などの好きな漢字を書いた。

書道部副部長の高校2年、山中小暖さん(16)は「真剣に取り組んでくれたので、私たちも楽しめた。みんな初めて筆を握ったとは思えないほど字がきれいでした」とにっこり。レオナルド・ポイシエさん(26)は「みんな優しく楽しくかった。浴衣がかっこよくて、気に入った」とご満悦だった。

(玉置萌恵)